



2024年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年5月1日

上場会社名 株式会社 ニックター

上場取引所 東

コード番号 5367 URL <https://www.nikkato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 宏司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理部長 (氏名) 濱田 悦男

TEL 072-238-3641

定時株主総会開催予定日 2024年6月21日

配当支払開始予定日

2024年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期の業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年3月期	10,239	4.6	918	16.7	992	15.7	702	16.0
2023年3月期	10,733	7.6	1,102	13.4	1,177	14.5	835	24.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2024年3月期	58.81		5.5	5.8	9.0
2023年3月期	69.99		6.9	7.0	10.3

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2024年3月期	17,191	13,073	76.0	1,095.31
2023年3月期	16,895	12,394	73.4	1,038.39

(参考) 自己資本 2024年3月期 13,073百万円 2023年3月期 12,394百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	785	398	509	3,385
2023年3月期	939	267	521	3,508

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2023年3月期		10.00		13.00	23.00	275	32.9	2.2
2024年3月期		11.00		13.00	24.00	290	41.3	2.2
2025年3月期(予想)		10.00		11.00	21.00		35.8	

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	4,800	4.6	450	8.3	480	8.0	340	6.4	28.49
通期	10,300	0.6	950	3.4	990	0.2	700	0.3	58.65

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	12,135,695 株	2023年3月期	12,135,695 株
期末自己株式数	2024年3月期	200,456 株	2023年3月期	200,238 株
期中平均株式数	2024年3月期	11,935,379 株	2023年3月期	11,935,457 株

(注) 期末自己株式数には「株式会社日本カストディ銀行(信託E口)」が保有する当社株式(2024年3月期 156,000株)が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行(信託E口)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2024年3月期 91,000株)。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(重要な会計上の見積り)	11
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、経済社会活動の正常化が進み、緩やかな回復基調となりました。一方、長期化するウクライナ情勢や中東情勢の地政学上のリスクが深刻化し、円安の長期化等の影響による原材料やエネルギー価格の上昇並びに物価高を誘引し、人件費をはじめとしたコストの高止まり等、先行き不透明な状況下にあるとともに、中国経済の低迷を受け、当社主力販売先である電子部品業界への影響もあり、総じて厳しい環境下にありました。

このような状況の中、当社事業全体の売上高は前年同期比4.6%減の10,239,400千円となりました。損益面につきましては、営業利益は前年同期比16.7%減の918,319千円、経常利益は前年同期比15.7%減の992,217千円、当期純利益は前年同期比16.0%減の701,907千円となりました。事業別の状況としてセラミックス事業は、当社主力販売先である電子部品業界の市況が低調に推移したことにより、売上高は前年同期比8.0%減の7,529,800千円となりました。利益面については、原材料価格等の上昇によるコスト増や、受注減により工場稼働率が低下したことで、売上原価率が2.1ポイント増加する結果となり、セグメント利益は前年同期比26.8%減の721,101千円となりました。一方、エンジニアリング事業につきましては、自動車・重機関連や鉄鋼関連向け等の活発な市況に支えられ、好調に推移した結果、売上高は前年同期比6.2%増の2,709,600千円となりました。セグメント利益については、増収や計測機器の利益率改善効果が大きく、前年同期比68.4%増の197,218千円となりました。

結果、当社目標数値としているROE（自己資本当期純利益率）8%以上、EPS（1株当たり当期純利益）65円以上につきまして、当事業年度の実績としてROEが5.5%、EPSは58円81銭となり目標数値を下回る結果となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度の財政状態については、総資産が前期末比1.8%増の17,190,716千円となり、内訳としては流動資産が前期末比1.7%減の10,083,474千円となり主に売上債権が前期末比4.8%増3,758,286千円となった一方で、セラミックス事業の売上低迷により特に製品在庫を調整したことにより棚卸資産が前期末比6.8%減の2,915,073千円となりました。また、固定資産が前期末比7.0%増の7,107,242千円となり、主に投資有価証券が時価上昇により前期末比21.6%増の2,186,755千円となりました。

負債は、前期末比8.5%減の4,117,908千円となり、内訳としては流動負債が前期末比8.4%減の3,300,519千円、固定負債が8.8%減の817,388千円となりました。流動負債の主な減少要因は、受注減により原材料等の購入が減少したことにより仕入債務が前期末比18.6%減の1,637,934となり、固定負債の主な減少要因は長期借入金の返済によるものであります。

純資産は前期末比5.5%増の13,072,807千円となりました。内訳としては株主資本が前期末比3.5%増の12,245,201千円となり、主に利益剰余金が前期末比4.4%増の9,786,809千円であり、これは繰越利益剰余金の増加によるものであります。また、評価・換算差額等は前期末比47.3%増の827,606千円となり、これは投資有価証券の時価が上昇し、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

	前事業年度 (千円)	当事業年度 (千円)	前年同期比増減額 (千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	938,735	785,118	△153,617
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267,216	△398,902	△131,685
財務活動によるキャッシュ・フロー	△521,086	△509,929	11,157
現金及び現金同等物期末残高	3,508,317	3,384,604	△123,712
借入金期末残高	1,156,128	935,236	△220,892

当事業年度末における現金及び現金同等物は3,384,604千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、当社主力販売先の電子部品業界の低迷により減収となりました結果、税引前当期純利益は984,129千円となり、売上債権が173,267千円増加し、棚卸資産が213,514千円および仕入債務が373,852千円減少しました。結果、営業活動によるキャッシュ・フローは785,118千円となり前年同期比153,617千円収入が減少しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得が392,773千円の支出となりました。結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△398,902千円と前年同期比131,685千円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済220,892千円、配当金の支払い287,981千円を行いました。結果、財務活動によるキャッシュ・フローは△509,929千円と前年同期比11,157千円支出が減少いたしました。

(4) 今後の見通し

足元の環境は、地政学的リスクを主因とする原材料の高止まりによる物価上昇等今暫くは厳しい環境下にあり、各国の大統領選挙も控え、先行きの見通しが非常に予測しづらい状況にあります。このような環境下、中国経済の低迷などによる当社主力販売先である電子部品業界の生産調整等の影響もあり、次年度上半期は引続き影響を受けるものと予測しており、状況の改善は下半期以降との見込みによる事業計画となっております。次年度である2024年度は、当社中期経営計画「CONNECT25」の最終年度でもあり、今後益々企業としての責任となる環境問題や社会課題への取組を一層加速させ、かつ競争が激しくなる部材などの一層生産効率を改善し、環境面を配慮した低コスト品の開発を推し進め、それらの関連投資に積極的に取組み、企業価値向上に努めてまいります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の事業は、現在ほぼ国内に限定されており海外での事業展開がないこと及び子会社がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移、また同業他社のIFRS（国際財務報告基準）採用を踏まえ、IFRSの検討を進める方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,508,317	3,384,604
受取手形	423,986	257,992
電子記録債権	775,680	991,150
売掛金	2,385,352	2,509,142
商品	66,318	71,425
製品	1,157,698	772,721
原材料	322,022	298,787
仕掛品	1,377,766	1,567,034
貯蔵品	204,781	205,104
仮払金	1,281	1,518
未収入金	5,053	3,769
前払費用	20,856	20,222
前払金	4,400	-
流動資産合計	10,253,516	10,083,474
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,424,918	5,531,178
減価償却累計額	△3,107,642	△3,165,817
建物（純額）	2,317,275	2,365,361
構築物	310,060	314,880
減価償却累計額	△184,375	△197,172
構築物（純額）	125,684	117,708
機械及び装置	8,488,654	8,722,723
減価償却累計額	△7,410,572	△7,566,853
機械及び装置（純額）	1,078,082	1,155,870
車両運搬具	59,176	61,048
減価償却累計額	△56,435	△54,767
車両運搬具（純額）	2,740	6,281
工具、器具及び備品	1,454,585	1,462,893
減価償却累計額	△1,332,957	△1,362,591
工具、器具及び備品（純額）	121,628	100,301
土地	904,808	904,808
建設仮勘定	33,321	11,964
リース資産	7,506	7,506
減価償却累計額	△5,887	△6,821
リース資産（純額）	1,618	684
有形固定資産合計	4,585,160	4,662,980
無形固定資産		
ソフトウェア	143,778	97,524
電話加入権	4,132	4,132
無形固定資産合計	147,911	101,657

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	1,799,028	2,186,755
従業員に対する長期貸付金	-	947
長期前払費用	1,291	321
前払年金費用	75,865	122,989
敷金及び保証金	32,148	31,556
事業保険積立金	26	34
投資その他の資産合計	1,908,359	2,342,604
固定資産合計	6,641,431	7,107,242
資産合計	16,894,948	17,190,716
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	426,421	481,083
買掛金	1,585,364	1,156,850
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	220,892	214,392
営業外電子記録債務	63,066	172,332
未払金	320,722	432,820
未払消費税等	20,308	40,461
未払法人税等	225,961	79,415
未払費用	722	739
預り金	17,880	12,891
契約負債	2,317	24,180
賞与引当金	286,870	249,300
役員賞与引当金	33,414	29,651
役員株式給付引当金	-	5,101
リース債務	934	684
その他	-	616
流動負債合計	3,604,874	3,300,519
固定負債		
長期借入金	535,236	320,844
役員退職慰労引当金	111,044	-
長期末払金	-	82,797
役員株式給付引当金	-	2,186
長期預り保証金	86,643	85,270
資産除去債務	61,056	61,122
繰延税金負債	101,794	265,168
リース債務	684	-
固定負債合計	896,459	817,388
負債合計	4,501,334	4,117,908

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金		
資本準備金	1,088,420	1,088,420
その他資本剰余金	137,017	162,943
資本剰余金合計	1,225,438	1,251,363
利益剰余金		
利益準備金	205,810	205,810
その他利益剰余金		
別途積立金	5,100,000	5,100,000
繰越利益剰余金	4,067,259	4,480,999
その他利益剰余金合計	9,167,259	9,580,999
利益剰余金合計	9,373,069	9,786,809
自己株式	△87,665	△113,712
株主資本合計	11,831,583	12,245,201
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	562,030	827,606
評価・換算差額等合計	562,030	827,606
純資産合計	12,393,613	13,072,807
負債純資産合計	16,894,948	17,190,716

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日)	当事業年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)
売上高		
製品売上高	8,181,672	7,529,800
商品売上高	2,551,465	2,709,600
売上高合計	10,733,137	10,239,400
売上原価		
製品期首棚卸高	1,035,252	1,157,698
商品期首棚卸高	59,574	66,318
当期製品製造原価	6,039,738	5,273,053
当期製品仕入高	154,966	97,074
当期商品仕入高	2,135,704	2,229,234
合計	9,425,236	8,823,380
製品期末棚卸高	1,157,698	772,721
商品期末棚卸高	66,318	71,425
他勘定振替高	55,560	60,544
売上原価合計	8,145,658	7,918,688
売上総利益	2,587,479	2,320,711
販売費及び一般管理費	1,485,115	1,402,391
営業利益	1,102,363	918,319
営業外収益		
受取利息	1,029	896
受取配当金	61,047	66,731
受取賃貸料	7,622	7,492
受取保険金	10,106	-
その他	9,892	10,617
営業外収益合計	89,698	85,738
営業外費用		
支払利息	7,754	6,253
コミットメントフィー	5,499	5,504
その他	1,505	81
営業外費用合計	14,759	11,840
経常利益	1,177,302	992,217
特別損失		
固定資産廃棄損	2,505	8,087
特別損失合計	2,505	8,087
税引前当期純利益	1,174,797	984,129
法人税、住民税及び事業税	351,000	241,000
法人税等調整額	△11,563	41,222
法人税等合計	339,436	282,222
当期純利益	835,360	701,907

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	3,494,478	8,800,288
当期変動額								
剰余金の配当							△262,580	△262,580
当期純利益							835,360	835,360
自己株式の取得								
自己株式の処分								
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	572,780	572,780
当期末残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	4,067,259	9,373,069

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△87,665	11,258,802	527,657	527,657	11,786,460
当期変動額					
剰余金の配当		△262,580			△262,580
当期純利益		835,360			835,360
自己株式の取得					
自己株式の処分					
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）			34,372	34,372	34,372
当期変動額合計	-	572,780	34,372	34,372	607,153
当期末残高	△87,665	11,831,583	562,030	562,030	12,393,613

当事業年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	4,067,259	9,373,069
当期変動額								
剰余金の配当							△288,166	△288,166
当期純利益							701,907	701,907
自己株式の取得								
自己株式の処分			25,925	25,925				
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）								
当期変動額合計	-	-	25,925	25,925	-	-	413,740	413,740
当期末残高	1,320,740	1,088,420	162,943	1,251,363	205,810	5,100,000	4,480,999	9,786,809

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△87,665	11,831,583	562,030	562,030	12,393,613
当期変動額					
剰余金の配当		△288,166			△288,166
当期純利益		701,907			701,907
自己株式の取得	△94,345	△94,345			△94,345
自己株式の処分	68,298	94,224			94,224
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）			265,575	265,575	265,575
当期変動額合計	△26,047	413,618	265,575	265,575	679,193
当期末残高	△113,712	12,245,201	827,606	827,606	13,072,807

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,174,797	984,129
減価償却費	628,768	608,930
受取利息及び受取配当金	△62,077	△67,627
支払利息	7,754	6,253
投資有価証券売却損益 (△は益)	△575	-
前払年金費用の増減額 (△は増加)	11,607	△47,123
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	16,021	△28,247
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	-	7,288
固定資産廃棄損	2,505	8,087
受取保険金	△10,106	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△126,724	△173,267
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△374,335	213,514
その他の資産の増減額 (△は増加)	5,910	7,016
仕入債務の増減額 (△は減少)	52,300	△373,852
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△150,759	20,153
その他の負債の増減額 (△は減少)	40,502	△36,631
小計	1,215,588	1,128,624
利息及び配当金の受取額	62,077	67,627
利息の支払額	△7,652	△6,501
法人税等の支払額	△341,384	△404,632
保険金の受取額	10,106	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	938,735	785,118
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△262,381	△392,773
投資有価証券の売却による収入	6,241	-
貸付けによる支出	-	△1,000
貸付金の回収による収入	-	52
無形固定資産の取得による支出	△13,292	△5,765
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	2,215	583
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267,216	△398,902
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△256,892	△220,892
自己株式の取得による支出	-	△94,345
自己株式の売却による収入	-	94,224
リース債務の返済による支出	△1,501	△934
配当金の支払額	△262,693	△287,981
財務活動によるキャッシュ・フロー	△521,086	△509,929
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	150,432	△123,712
現金及び現金同等物の期首残高	3,357,885	3,508,317
現金及び現金同等物の期末残高	3,508,317	3,384,604

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積り)

1. 棚卸資産の評価

(1) 当事業年度の財務諸表に計上した金額

(千円)

	前事業年度	当事業年度
製品	1,157,698	772,721
仕掛品	1,377,766	1,567,034

(2) 当事業年度の財務諸表に計上した金額の算出方法

棚卸資産は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により評価しており、取得原価と当事業年度末における正味売却価額のいずれか低い方の金額で評価しております。当事業年度の評価損の金額は15,070千円であります。

(3) 当事業年度の財務諸表に計上した金額の算出に用いた主要な仮定

当社は顧客ニーズの状況に応じてある程度の見込み生産を行うことがあり、保有期間が長期に亘る棚卸資産は、将来の使用見込み等を鑑みて適宜廃棄処分を行っております。棚卸資産の正味売却価額は、様々な顧客ニーズの状況や経済環境の変化の影響を受けるため、直近の販売実績等を基礎として算出しております。

(4) 翌事業年度の財務諸表に与える影響

今後の顧客ニーズの状況や経済環境の変化が生じた場合には、追加の棚卸資産の評価損が計上される可能性があります。

2. 繰延税金資産

(1) 当事業年度の財務諸表に計上した金額

(千円)

	前事業年度	当事業年度
繰延税金負債	101,794	265,168

(注) 繰延税金資産・繰延税金負債は相殺表示しております。

(2) 当事業年度の財務諸表に計上した金額の算出方法

繰延税金資産は、入手可能な将来の課税所得の見積りからその回収可能性が見込めないと考えられる場合には、評価性引当額の計上により繰延税金資産の金額を減額しております。

(3) 当事業年度の財務諸表に計上した金額の算出に用いた主要な仮定

当社は、繰延税金資産の回収可能性等に関する見積りは、中期経営計画を基礎とし将来の課税所得の見積りに基づき、繰延税金資産を計上しております。

(4) 翌事業年度の財務諸表に与える影響

繰延税金資産の回収可能性は将来の課税所得の見積りに依存するため、その見積りを前提とした条件や仮定に変更が生じ減少した場合、繰延税金資産が減額され税金費用が計上される可能性があります。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離され財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業内容としてはセラミックス事業とエンジニアリング事業に大別されます。

セラミックス事業は、工業用セラミックス製品を当社、堺工場および東山工場で製造し販売するもので、当社の製品は、ほとんどがエンドユーザーである電子部品、食品、薬品、塗料等の各メーカーにおける生産工程で使われるセラミックス製の道具類、備品、機械部分等の消耗品であります。

エンジニアリング事業は、製造工場を持たず、加熱装置や計測機器等を商品として仕入れし販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,181,672	2,551,465	10,733,137	-	10,733,137
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	8,181,672	2,551,465	10,733,137	-	10,733,137
セグメント利益	985,269	117,094	1,102,363	-	1,102,363
セグメント資産	11,451,492	1,751,753	13,203,245	3,691,702	16,894,948
その他の項目					
減価償却費	621,149	7,618	628,768	-	628,768
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	303,514	12,905	316,420	-	361,420

(注) 1 セグメント資産の調整額3,691,702千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2 セグメント負債の金額は、当社の最高意思決定機関に対して定期的に提供していないため記載しておりません。

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	セラミックス 事業	エンジニア リング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,529,800	2,709,600	10,239,400	-	10,239,400
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,529,800	2,709,600	10,239,400	-	10,239,400
セグメント利益	721,101	197,218	918,319	-	918,319
セグメント資産	10,918,746	2,637,136	13,555,882	3,634,834	17,190,716
その他の項目					
減価償却費	601,969	6,961	608,930	-	608,930
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	645,452	3,131	648,583	-	648,583

(注) 1 セグメント資産の調整額3,634,834千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2 セグメント負債の金額は、当社の最高意思決定機関に対して定期的に提供していないため記載しておりません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,038.39円	1,095.31円
1株当たり当期純利益金額	69.99円	58.81円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	835,360	701,907
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	835,360	701,907
普通株式の期中平均株式数(株)	11,935,457	11,935,379

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	12,393,613	13,072,807
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	12,393,613	13,072,807
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	11,935,457	11,935,239

(重要な後発事象)

該当事項はありません。